

秋元運輸倉庫

ドライバー採用のコツを公開

センスと会社と魅力のアピールが重要



秋元社長

然ドライバーは集まる。しかし、残業があつて、給料がそれほど高くない会社もあきらめずに自信を持ってほしい」と激励。ただ、採用のセンスがなく、自分の会社の魅力をアピールできない会社では採用は難しいとした。

ホームページ（HP）に採用のコンテンツを設けるとともに、募集広告を出す前に、会社のチャームポイントを3〜5つピックアップすること、24時間受付可能な電話番号を設定すること、最低でも毎日1時間は採用活動のみに専念する担当者を

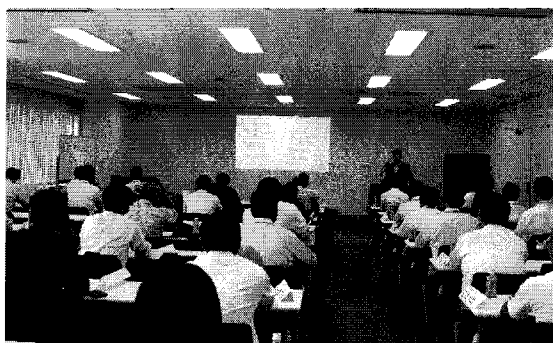
置くことなどをアドバイス。

会社のチャームポイントについては「乙仲」3PLなど業界関係者にしか分からない専門用語は使わず、20文字以内で表現すべき。また、会社のHPがみずばらしいとダメ。更新が2年程ストップしているのもまずい。HPのQ&Aのコーナーは募集要項の次にアクセスが多い」と指摘した。

また、「応募のしやすさ」が重要であるとし、スマートフォン対応は必須と強調。いいドライバーを見つけるポイントとして、「現状の労働環境に不満を待つドライバーは夜型勤務が多い。朝の4時、5時に勤務が終わってからの応募の電話をしていくため、24時間受付対応できる体制が必要」と語った。

高卒者の採用に関しては、高校生はゴールデンウィーク前には前年度の求人票を見て就職先を検討することから、「ゴールデンウィーク前に前年度の求人票を持っていくこと」「7月の第3週までに第1志望を決めるので、解禁になる7月1日の午前中、遅くとも2日以内に求人票を持っていくのが望ましい。郵送は厳禁」と強調した。

坂田氏の講演の後、トラコムによる採用特別セミナー、パネルディスカッションも行われた。



情報交流会の様子

秋元運輸倉庫（本社・東京都港区、秋元伸介社長）は7月25日、「ドライバー採用に効くスリ」をテーマに情報交流会を開催し、60人超が参加した。同社の坂田良平マネージャーが採用に関する同社の取り組みや前職の経験を交えながら、「絶対に集まるトラックドライバーの採用のコツ」を公開した。

秋元社長は昨今の天候不順について触れ、「西日本豪雨は物流会社にも大きな影響が出てきており、対岸の火事ではなくなってきた。適切に対応していかなければならない。情報交流会は第6回目となるが、ひとつでも役立つものを持ち帰ってほしい」と挨拶した。

坂田氏は冒頭、「月収50万円、長距離ナシ、手積み・手下ろしナシ、地方転機ナシなら当

東京都

五輪の混雑緩和へTDM推進PJ

協力企業のエントリー開始へ

東京都の小池百合子知事は7月27日の記者会見で、東京オリ

ンピック大会開催期間中の交通混雑緩和に向け、大会公認プロ

グラムとして、「2020TDM（交通需要マネジメント）推進プロジェクト」を発足する、と発表した。都と国、組織委員会の3者で主催し、経済団体に協力を呼び掛けることでTDMを推進、その輪を業界団体にも広